

秋の夜長にミステリー！おすすめ探偵映画3選

個性的な探偵たちの登場する映画3選！

10月7日は『ミステリーの日』。アメリカの小説家エドガー・アラン・ポーが亡くなったことに由来しています。そんなエドガー・アラン・ポーは世界初の探偵小説『モルグ街の殺人』にて、名探偵オーギュスト・デュパンを生み出しました。彼の知性と推理力を兼ね備えた人柄は、名探偵像として広く知られていきます。

今回は名探偵が登場し、本格的な推理が楽しめる探偵映画を3作品ご紹介します。

『ナイブズ・アウト/名探偵と刃の館の秘密』

『007』のダニエル・クレイグが名探偵ブノワ・ブランに扮して、容疑者の一人であるマルタ・カブレラ(クリス・エヴァンス)と共に、資産家の遺産を巡る殺人事件の謎に迫ります。

天才探偵と密室殺人、全員容疑者というミステリーの王道に、一癖も二癖もある登場人物たちのドタバタ劇を織り交ぜた本作は、第92回アカデミー賞脚本賞にノミネートされました。二転三転しながらトップスピードで展開する物語は見ごたえ十分！

嘔吐描写がありますので、苦手な方はご注意ください。

『相棒-劇場版IV- 首都クライシス 人質は50万人！ 特命係最後の決断』

大人気刑事シリーズ『相棒』の劇場版4作目。

水谷豊演じる主人公・杉下右京は、「和製シャーロック・ホームズ」と称される明晰な頭脳と推理力を備えたキャラクター。飄々(ひょうひょう)とした性格に軽口を挟むフランクさも兼ね備えた四代目相棒・冠城亘(反町隆史)と共に、国境を超える巨大な事件に挑みます。歴代相棒でも人気の高い二代目相棒・神戸尊(及川光博)も登場し、個性的なキャラクターとの関係性も見どころです。

本作は刑事ものでありながら、ミステリーとサスペンスに満ちた探偵映画としても楽しめます。

『探偵はBARにいる』

北海道を舞台にした本作は、ご当地出身の人気俳優・大泉洋が主演を務める人気シリーズの1作目。

主人公である〈俺〉こと「探偵」は酒好きで美人に弱い、古風な私立探偵。アジア最北の歓楽街「すすきの」のバー「ケラーオオハタ」に入り浸っていた探偵は、一本の電話をきっかけにして事件に巻き込まれ、その真相を追っていきます。松田龍平演じるローテンションの相棒(兼運転手)の高田とは、掛け合いもアクションも息ぴったり。ハードボイルド、サスペンス、ロマンスが揃った本格探偵映画として高い評価を得ています。

原作は東直己氏の人気小説「ススキノ探偵」シリーズで、映画版は現在3作まで公開されています。

秋の気配が深まってきた今日この頃。ゆっくりとソファに腰を落ち着けながら、個性豊かな名探偵たちとめくるめくミステリーに挑んでみるのはいかがでしょうか？